



ミズナラの巨木



ブナの巨木



見透視の良いブナ林



ヒロハユキザサ

温身平はブナが極相林を作り中にミズナラ、トチなどを交え巨木化します。樹高も 30mにも達しますので枝も横に広く張ります。木漏れ日は弱く森の中は、かなり見透視のよい状態になっています。足元に低木類と草本類は見られますが、亜高木がほとんど見られません。原生林では良く見られる姿です。またブナの幹を見るといろいろな色に染められている事に気が付かれています。元々小国町ではブナの森は白い森と言いますが、その白い幹に地衣類がついて色が付いています。地衣類は菌類(子のう菌類)と藻類(緑藻類か藍藻類)が共生しているものです。ブナの幹にまだら模様をつくるものにはトリハダゴケ類やチャシブゴケ類と呼ばれる地衣類です。名前の中にコケとつきますが、地衣類の間にはコケと付くものも多く見られます。この他にも枝から下がるものにサルオガセ類、枝の先の方にはカラタチゴケ類が見られます。今回は、そのようなものも見ながらゆっくりのんびり歩きます。

文責 志鎌 節郎

平成28年度

野外観察講習会

小国温身平のブナ林



2016.7.29 山形市理科教育センター



ここ温身平は玉川上流部に位置し梅花皮沢(かいらぎざわ)と大又沢の合流点に広がるブナ原生林の中の比較的傾斜の緩い幅の広い河岸段丘状の森林です。温身平の森には全長 5.5km の散策路が有り、癒しの効果の実証された森林セラピーの散策路「セラピーロード」として認定されているという所です。散策路に入るとセラピーガイドコーナーが有り、左の写真のような「森林浴でストレスホルモンが減少」「森林浴で生理的にリラックス」「森林の香り成分(フィトンチッド)」などの説明が図解で示してあります。メインロードのほかに、けもの歩道、はなれやま遊歩道が有り、今回はメインロードからはなれやま遊歩道に入りまたメインロードに出て帰りたいと考えています。所々にベンチが有ったりして、ゆっくりリラックスして歩くことが今回の目的です。森林浴の癒し効果を味わいながら所々に見られる巨木などを見て回ります。ここ温身平のブナ林は原生林ですので 2 次林と違い森の中は見透視のよい林が続き視界も広くとてもリラックスできます。



温身平のメインロードは以前砂防ダム建設のための工事用道路でした。昭和 42 年の羽越水害の後の荒川水系の土砂災害防止対策として砂防ダム 4 基を作って、洪水調節をやっているようで、梅花皮沢第一号砂防ダムを見ることができます。



標高 450m の温身平ではブナ林の中に樹高 30m のブナの木の下にハウチワカエデ、ベニイタヤ、ウミズザクラ、ホオノキ、コシアブラ、テツカエデ、ムシカリ、ミズキなどが亜高木層となり沢筋にはヤチダモ、サワグルミ、トチなどが巨木となり、オオバクロモジやツノハシバミ、ヤマウルシ、エゾアジサイ、サワフタギ、ハイイヌガヤ、ヒメアオキ、エゾユズリハ、マユミ、ノリウツギなどの低木が林縁部に見られ、林はツタウルシ、ヤマブドウ、ツルアジサイなどのツル植物がマント植物として林を守ります。その下にカラクサイヌワラビ、クサソテツ、イヌガンソク、リョウメンシダ、イッポンワラビ、ジュウモンジシダなどのシダ類やミヤマカンスゲ、ケイタドリ、アカソ、ヤマトキホコリ、ホウチャクソウ、ミヤマカタバミ、タチシオデ、などの草本類が袖群落を形成しています。



ヤチダモの巨木



サワグルミ